

～今月の滑稽句より・・・

・前川敏夫 作

病院を今日は休んで日向ぼこ

勤務や学校を休むことはあるが、さて病院も休むことがあるのだ。
あまりの好天気、病院で過ごすにはもったいないという気分ですね。
休むを決めるまでの、心の葛藤がみえてきます。

・種谷良二 作

栗飯の栗の個数を目で数え

いったい栗は幾つ存在したのか。リアリティーとともに受け止められます。
白いごはんに黄色い栗はいやでも目に入ります。
隣の人個数までも一瞬にして分かります。
達人とは、そういうものです。

・今城夏枝 作

寄せ鍋の煮え講釈も煮えたぎる

懇親を図るつもりのお方も、いつのまにやら講釈師に。
鍋が熱くなり、出汁が熱くなり具も熱く、やっぱり議論も沸騰点。
性格はなかなか変わりませんよね。鍋も選んで、ついでに人も
選びましょう。